

武蔵大学を御卒業、並びに武蔵大学院を御修了の皆さん、おめでとうございます。

保護者の方々も誠にありがとうございます。皆さんは今日まで研鑽を積み上げてこられました。努力をされた甲斐があり、この卒業式を迎えられました。本当に嬉しいことです。

日本を始め世界は、世界規模化―グローバル化の時代に入り、科学技術、政治経済芸術等々あらゆる分野でグローバル化が急速に進んでいます。教育の上でもグローバル人材、即ち世界規模で、国際的に活躍する人材の育成が重要な課題になっています。武蔵大学でもこのことに充分留意して教育しています。一般教養や外国語教育を重要視し、またゼミナールによる深く考え、議論する力を養成する教育を推進しています。皆さんはこのような教育を受けて、今日社会へ飛び立とうとしています。

グローバル化が進む一方、日本では東日本大震災よりの復興の費用が巨額であること、また自由貿易圏への努力が、アメリカの態度の急変により困難に直面し、マイナス金利により経済活動も停滞せざるを得ないなどの状況の下、国の経済をどう回復するかが大きな課題です。更には近隣諸国との交流も円滑でなく、それをどうやって正常化するかも国として克服しなければならぬ困難の一つです。

しかし卒業生の皆さん、グローバル化が進む一方、このような困難が山積する時代は逆に皆さんのような若い人々にとって絶好の機会を与えてくれます。過去のやり方にとられず、新鮮な着想力と実行力を発揮してこのような困難を乗り越え今日のような閉塞感を吹き飛ばして、明るい希望のある時代を作ってください。

皆さんは武蔵学園の建学の三理想の下で教育を受けてこられました。武蔵の建学の三理想の中で、私が最も大切と思っ「自ら調べ自ら考える」力を身につけておられるに違いありません。大きかろうと小さかろうと課題に直面したら、自ら調べ自ら考えて解決して下さい。そして武蔵の建学の三理想

- 1、東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
- 2、世界に雄飛するにたえる人物
- 3、自ら調べ自ら考える力のある人物

のような人物になる志を立てて活躍して下さい。この三理想こそ今日のグローバル化の時代にかきわしいものです。若い皆さんだからこそ自ら調べ自ら考えて、皆さん自身の課題も国や世界が直面している課題も解決できるように。

現在武蔵学園ではこの三理想に基づいて理事長ドクトリン「まなざしを世界に向け、21世紀の課題を担う国際人を育てる学校を目標とする」と、その具体化のため学園長プラン「世界に開かれたリベラルアーツの学園をめざす」が実行されている

ことは皆さん御承知の通りです。

私はここで皆さんにもっと自信を持って欲しいとお願いをしたいのです。新聞報道等で若者の学力低下とよく言われますがそれは正しくありません。

小学生、中学生の算数・数学及び理科の学力に関するIEAと呼ばれる国際調査では、先進国を含む40数ヶ国中日本は常に5位より上の成績です。学力の高い国々は日本、中国、台湾、韓国、シンガポールであり、14諸国やアメリカに比べて遙かに高いのです。またOECD(経済協力開発機構)が2015年15歳を対象に行ったPISAと呼ばれる学習到達度調査の結果では一般的読解力も8位で悪くはありませんし、科学的読解力は2位、数学的読解力は5位ときわめて高いことが明らかになりました。皆さんはこのように世界的に優れた学力を持っているのです。

日本は若者だけでなく成人も読解力が優れているのです。OECDが2013年に発表したPIAACという国際比較では、読解力と数学的思考力で世界一でした。

日本人は優れた素質を持っています。皆さんのような若者の学力は高いのです。自信を持って将来へ向って下さい。

皆さん、この武蔵大学や大学院で教えて下さり、更にさまざまな助力を与えてくださった教職員の方々への尊敬を忘れず、ここで培った友情を大切にして、新しい人生を切り開いて下さい。そして何と言っても先ず健康を大切にして活躍して下さい。皆さんの御成功を心より祈りつつ、私の挨拶を終わります。

武蔵大学を御卒業の皆さん、大学院を御修了の皆さん、そして保護者の方々、誠におめでとうございました。

平成二十九年三月二十二日

武蔵学園長 有馬朗人